

猛烈な寒波が 勝山市を襲う



34年ぶりに

雪害対策本部を設置

1月中旬の寒波の影響も冷めやらず、給水制限や断水が続くなか、2月4日から最強寒波が福井県に流れ込み、大雪となりました。

2月5日に積雪が120cmを超え、以降も降雪が見込まれることから、正午に「勝山市雪害対策室」を設置し、情報収集のほか、独居老人宅の除雪の対応に当たりました。それ以降も雪は降り続いたことから、2月7日午前9時には昭和59年の大雪以来、実に34年ぶりとなる「勝山市雪害対策本部」に切り替えました。

降り積もる雪に公共交通機関はマヒし、国道8号線では立ち往生が発生して物流の流れが止まるなど、被害は徐々に拡大し、市民の生活を脅かしました。

対策本部では厳しい状況の中、区長会や民生委員など関係機関と連携をとりながら、道路除排雪や高齢者世帯の安全確認などに、全庁体制で取り組みました。

これまでの被害状況まとめ

※羅災証明願の提出や市職員が直接現場で確認した件数(2月26日現在)

○市街地における
最大積雪量
204cm(2月8日)
観測地点▼滝波町
(勝山丸岡線)

- 人的被害
死亡者 2名
負傷者 4名
- 積雪による家屋等被害
・住家(一部損壊17件、床下浸水7件)
・非住家(半壊7件)
・パイプハウス(倒壊7棟、破損11棟)

雪害への対応と市内のおもな状況

○市の対応 ●市内の状況

1月29日(月)

- 給水制限開始 影響戸数2460戸(22地区)
- 給水制限地域への給水車、ポリタンクなどの給水対応開始(～2月26日)



給水車による給水

2月3日(土)

- 断水地区解消 給水制限影響戸数600戸(16地区)

2月5日(月)

- 積雪量が100cmを超える
- 正午に「勝山市雪害対策室」を設置

2月6日(火)

- 中部縦貫自動車道が通行止め(～2月10日)
- 災害救助法が適用される
- 公共施設の屋根雪下ろし、独居老人宅の除雪に全庁体制で対応開始(～2月17日)

1月30日(火)

- 給水制限による断水(平泉町大袋、崎崎、新道、北山、蓬生)

1月31日(水)

- 給水制限による断水(平泉寺町上野、岩ヶ野、大矢谷)

2月1日(木)

- 給水制限地区の住民を対象に「温泉センター水芭蕉」を無料開放(～2月28日)



水路づまりの対応



独居老人宅の除雪

2月7日(水)

- 市内コミュニティバス、えちぜん鉄道、京福バスが全線運休
- 午前9時に「勝山市雪害対策本部」に切り替え
- 県への支援要請により、除雪車用の軽油3900ℓが届く
- 民生委員に協力を要請し、高齢者世帯の安全を確認
- 市内幼稚園、小中学校休校(～2月9日)

2月8日(木)

- 積雪量が204cmとなり今季最大を記録
- 岡山県総社市より除雪車用の軽油4000ℓが届く
- 市内全スポーツ施設休止(～2月15日)
- 狭小路線除雪作業開始(～2月15日)



狭小路線の除雪

2月10日(土)

- 不在家屋の落雪、倒壊危険個所のパトロール開始(～2月12日)

2月11日(日)

- 京福バスが一部でルートなどを変更し運行再開

2月12日(月)・(祝)

- 災害支援のための緊急寄付申込フォーム「ふるさと納税による災害支援」を開設

2月14日(水)

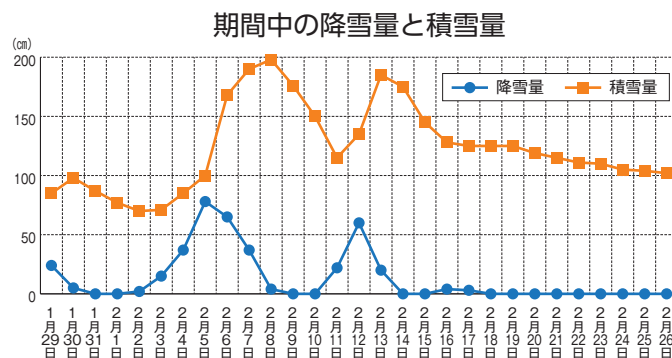
- えちぜん鉄道が夕方から勝山～永平寺口間で運行再開
- 区長に協力要請し、避難行動要支援者の安全確認と要望の聞き取り開始(～2月17日)

2月15日(木)

- コミュニティバスが全路線で運行を再開
- 給水制限地区の乳児がいる世帯を対象とした「ふくい勝山恐竜水」の無償配布開始(～2月26日)



対象者に恐竜水を無償配布



- 給水制限を完全に解除

- 「勝山市雪害対策室」を閉鎖

2月26日(月)

2月23日(金)

- 給水制限の時間帯を夜間のみに変更

2月20日(火)

- 「勝山市雪害対策室」に切り替え

2月19日(月)

- 京福バスが全路線で運行を再開